

青少年にさまざまな体験を

青少年育成かすみがうら市民会議では、市内小・中学校の親子を対象としたKWCS(かすみがうら市ウィークエンド・コミュニティー・スクール)事業を年4回開催している。当事業は、市内に住む学校、学年を異にする児童・生徒を週末一堂に集め、心豊かな人間性と郷土を愛する心を育むことを目的に、学校や家庭など、日常生活では経験できないような体験学習を関係機関、団体、組織が一体となって実施している。昨年度は親子でブルーベリー狩り、巨峰狩り、絵手紙作り、巨大恵方巻き作りを実施した。



KWCS事業のぶどう狩り

また、市PTA連絡協議会と合同開催している「青少年育成を考えるつどい」において、中学生の主張発表大

会を行っている。青少年が生活の中で感じたことや考えていることを育成者の前で発表することにより、青少年の心の成長や育成者の青少年健全育成に対する関心・意欲の向上に努めている。

青少年心身健全育成事業として実施している「ジュニア和太鼓教室」は、市内小・中学生を対象としている。教室は6回(8月～10月の間、月2回)実施していて、指導は市内で活動している団体「かすみがうら市あゆみ太鼓」に依頼し、参加している児童、生徒は11月に行われる市主催の「かすみがうら祭」での発表会に向けて熱心に練習している。



発表に向けて練習に励む子どもたち

今後も、地域との連携を図りながら、さまざまな活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいきたい。

青少年健全育成北茨城市民の会

地域の子どもは地域で守る

～健全育成市民の集いを通して～

かけがえのない社会の一員である青少年が、心身ともに健やかに成長することは市民すべての願いである。特に最近、青少年を取り巻く社会環境の中にはその健やかな成長を阻害するものも多く、年々その状況は危うい傾向にある。そこで、わたしたち市民の会では、青少年の健全な育成を図るために、「社会を明るくする運動」「国連麻薬乱用撲滅運動」「社会環境浄化活動」と連動して有害広告物の除去および社会環境の点検を行い、青少年の健全育成に対する共通理解と認識を深めるとともに、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を展開している。

この活動は、青少年の健全育成に係る市の31団体、学校、警察が参加し、今年度で18回目を迎えた。街頭パレードによる啓発活動のため、地域住民も多数沿道に参加し、より一層の啓発効果が上がっている。この活動には、市当局から市長、議長をはじめ多くの参加が、そして、警察署からも署長をはじめ多くの署員の協力がある。



「社会を明るくする運動」パレード

この活動のねらいは大きく二つあり、その一つは、「社会を明るくする運動」で、薬物乱用防止キャンペーンと青少年を犯罪や非行から守ろうというキャンペーンである。これらには、

薬物乱用防止日立地区協議会と連携し、パレード用ののぼり旗やたすき、配布用のリーフレットなどの提供を受けたり、地域の保護司会では、青少年の健全育成のための啓発資料の配布などを行ない、市民に運動の啓発を図った。

しかし、この活動にも課題がないわけでない。雨天時には、街頭パレードが行えず薬物乱用防止指導員からの講話があるものの活動効果も薄れがちになってしまうことや、昨今の交通事情もあり、多くの人数による街頭パレードのため交通事故防止は大きな課題である。

また、もう一つのねらいは、「地域の環境浄化活動」である。パレード終了後、地域にもどり有害広告物の除去及び地域環境の点検を行い、地域環境の整備を行っている。



地域の環境浄化活動

この活動は、小学校支部単位で行い、地域のさまざまな人たちが活動に参加し、地域の環境は自分たちの手で守っていこうとする主体的な活動である。昨今、有害広告物などは、ほとんど見られなくなった反面、危険箇所の出現、ゴミ、空き缶等の散乱などが見られることである。この活動には多くの地域の方がたの参加が有効と考え、期日や方法など各支部の主体的な活動に任せている。

このようにして、会の活動が地域の人たちに目に見えるもの、自分たちのものとなるように進めている。